

活動名:エストレージャスフットサルフェスティバルU-12

日 程:平成29年2月18日日

会 場:郡山市総合体育館

参 加:T6 クラス13名

帯 同:設楽コーチ

結 果:第6位/9チーム中

報 告:設楽コーチ

予選リーグ

VS 大玉FC B○

VS 城北 ●

予選:2位/3チーム

2位リーグ

VS 浅川●

VS 田島●

六年生たちが喜多方フットサル大会とエストレージャスフェスに分かれて、2チーム体制で挑む日程となりました。

エストレージャスフェスティバルU-12について報告いたします。

さて、今回のフェスティバルは喜多方及び怪我をして参加できない蒼くん以外の全ての男子6年生13名が参加してくれました。

泣いても笑っても6年生たちには最後の対外的な試合でした。

まずは、ミーティングを行い、みんなに以下のこと伝えました。

- ・このメンバーで試合をすることは最後であること。
- ・参加メンバーが多いので試合に沢山でることはできないが、平等に試合に出場してもらうので、自分が出た時にはみんなのために頑張ってもらいたい。
- ・仲間との思い出をしっかりとこのフェスで作ってほしい。
- ・試合が終わった後に、「もっとやっていたら良かった」、「もっとできたな」という気持ちにならないように、今の全ての技術を出し切り、全力で相手に立ち向かってほしい。
- ・試合は誰かがやってくれると言った人任せにしないこと。

最後の試合なので、仲間との良い思い出を作ってもらいたいと試合中も厳しいコーチングはしないで、のびのびとやらしてもらおうと思いましたが、初めの予選二試合はどうも全力を出し切るプレーが見られず、このままだとミーティングの時に伝えた「後で後悔する」ような感じ、やはり発破をかけるようなコーチングになってしまいました(笑)

子どもたちの性格もあり、素直で良い子ばかりなので、相手を蹴り倒してでも点を取りにいこう、ボールを奪いにいこうという気持ちが見られず、今年の6年生たちのカラーなのかな？と最後の試合を見ながら感じていました。

しかし、負けても勝っても仲間とボールを蹴ることやサッカーというスポーツが楽しい様子のプレーだったので、この試合における勝敗の結果がすべてではないと思った6年生最後のフェスティバルでした。

卒団まで残り一カ月となりましたが、練習が中心の活動となります。学校が違う仲間が集まり、友達関係を創造し、今まで様々なことをアレーで学び、感じ、楽しんだと思います。中学でサッカーを続ける子もいれば、他の部活や習い事をする子もいると思いますが、アレーの活動で心身共に大きく成長してくれたと思いますので、仲間との絆を忘れずに次のステージでも頑張ってもらいたいと思います。

保護者の方々も最後の試合を観戦し、アレー応援マフラーをして熱い応援をしていただき有難うございました。試合でお子様がボールを追いかけて、相手に向かっていくプレーを見ることも最後となり寂しい時期となりましたが、残り少ないアレーの活動にご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

エストレージャスタッフの皆様、大変お世話になりました。また、お誘いを宜しくお願いいたします。

コーチ：設楽





